

(1) グローバル経済コースの履修系統図

科目区分別の学修目標	1年次		2年次		3年次		4年次		単位数		
	第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester			
演習関連 大学演習A → 大学演習B → コース選択 演習 I A → 演習 I B → 演習 II A 卒業研究開始 → 演習 II B → 演習 III A (必修) → 演習 III B (必修) 卒業論文提出	大学演習A	大学演習B	コース選択 演習 I A	演習 I B	演習 II A 卒業研究開始	演習 II B	演習 III A (必修)	演習 III B (必修) 卒業論文提出	16~		
学科基礎科目 経済学と隣接分野の経営学、関連分野の法学に関する基礎科目の学修を通して、基礎知識の修得と諸問題への関心を高めることができる。	経済学基礎 (必修) 経営学基礎 (必修)	法学基礎							6		
学科共通科目 経済学と経営学に関する基礎科目の学修を通して、専門学修を進めていく上で必要となる基本的な知識や技能、思考法を修得することができる。	※第1~4 Semesterのあいだに履修することが望ましい：12単位以上選択必修 【経済学関連】1年次から ミクロ経済学 I → ミクロ経済学 II マクロ経済学 I → マクロ経済学 II 経済史 I → 経済史 II 経済統計学 I → 経済統計学 II 【経営学関連】1年次から 経営学総論 I → 経営学総論 II ビジネス統計学 I ※ミクロ経済学とマクロ経済学はどちらから先に履修してもよい。 ※簿記論 I (2単位)、簿記論 II (2単位) の計4単位は、初級簿記 (4単位) の単位をもって代替することができる。		※第3~8 Semesterのあいだに履修：20単位以上選択必修 【経済学関連】 2年次から 開発経済論 → アメリカ経済論 ヨーロッパ経済論 発展途上国経済論 アジア経済概論 → 中国経済論 I → 中国経済論 II 韓国経済論 I → 韓国経済論 II 中国経済事情 韓国経済事情 環境経済学 (理論) → 環境経済学 (政策) 日本経済史 I → 日本経済史 II 欧米経済史 世界経済論 Japanese Economy Economic Issues in English I → Economic Issues in English II Financial and Investment Analysis → Business Economics 3年次から ●国際経済学 国際金融概論 → 国際金融システム論 【経営学関連】 2年次から 国際経営概論 貿易論 (貿易基礎) → 貿易論 (貿易実務) ○ Practical Business English I → Practical Business English II → Practical Business English III ※○は1年次から、●は2年次から履修可能						18~		
コース基本科目 自分の興味・関心、将来の進路志望に合わせて選択されたコース学修において必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。			専門教育科目から、70単位以上の修得が卒業にとって必要である。ただし法学部開講の専門教育科目から30単位までこれに含めることができる。		※第5~8 Semesterのあいだに履修 【経済学関連】 ○海外フィールドスタディ ●農業経済論 ●計量経済学 I → ●計量経済学 II 経済成長論 【法学関連】 国際経済関係法 (国際経済法 I) 国際経済法 II (廃止) ●国際政治学 I → ●国際政治学 II ●国際関係史 I → ●国際関係史 II ●国際法総論 I → ●国際法総論 II ●グローバル化と企業の社会的責任 (CSR) 論 ●グローバル・ルールと国際社会 ●ヨーロッパ政治論 ●アメリカ政治論 ●中国政治論 【経営学関連】 ○経営組織 ○経営管理論 I → ○経営管理論 II ○経営情報概論 ○労務管理論 I → ○労務管理論 II ○マーケティング概論 ●経営戦略論 (企業戦略) ●経営戦略論 (事業戦略) ●国際ビジネス論 ●保険論 ●観光論 ●国際観光論 ● Global Business Communication → ● Global Strategic Management 市場戦略論 外国為替 ※太字は体験型学修科目 ※○は1年次から、●は2年次から履修可能 ※〈 〉内は旧科目名称						44~
コース関連科目 コース学修の応用展開を図るために必要となる知識や技能、思考法を修得することができる。											
外国語科目 日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力を修得することができる。	外国語 (必修)	外国語 (必修)							4~		
共通教育科目 幅広い教養及び国際感覚を修得することができる。	情報リテラシーA 文章表現入門 キャリア開発A	情報リテラシーB キャリア開発B	キャリアデザイン演習A	キャリアデザイン演習B	キャリア演習A	キャリア演習B		ビジネスリテラシー	36~		
目標修得単位数	18~24	18~24	18~24	18~24	18~24	18~24	8~24	8~24	124~		
推奨資格 目標取得時期			学部推奨資格 ▷ リテールマーケティング (販売士) 検定3級 ▷ ビジネス会計検定3級	学部推奨資格 ▷ 秘書技能検定2級	▷ ビジネス会計検定2級	学部推奨資格 ▷ リテールマーケティング (販売士) 検定2級 ▷ 秘書技能検定準1級					
学修目標	1年次の学修目標 (学部共通) ▷ 経済・経営学に関する基礎知識を修得する。 ▷ 読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる力、グループワーク力、プレゼンテーション力といった汎用的技能を身につけるトレーニングをする。 ▷ 外国語能力を伸ばす。 ▷ 興味・関心に応じて、人文、社会、自然等の教養分野の知識を広げる。 ▷ キャリアに関する意識を持つ。 ▷ 自分の興味・関心、将来の進路志望に適したコース、演習を選択するために、コース、演習内容について理解する。		2年次の学修目標 (学部共通) ▷ 経済・経営学に関する専門知識を拡充させる。 ▷ 実践的・能動的な取り組みを通して、汎用的技能のさらなる向上に努める。さらに、課題を見出す力をつける。 ▷ キャリアに関する意識を高める。 2年次の学修目標 (グローバル経済コース) ・貿易・海外投資・為替市場・政策についての理論と現状を理解する。 ・英語による専門科目を学修する。 ・秋学期に協定校に留学する。		3年次の学修目標 (学部共通) ▷ 卒業研究を意識した専攻分野の決定と研究に必要な情報を獲得する。 ▷ 実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決能力を高める。 ▷ キャリアに関する意識を具体化し行動する。 ▷ インターンシップに取り組む。 3年次の学修目標 (グローバル経済コース) ・グローバル経済について興味のあるテーマの研究を行う。 ・引き続き、英語による専門科目を学修する。 ・海外のインターンシップに参加する。		4年次の学修目標 (学部共通) ▷ 卒業研究を推進させて、卒業論文を完成させる。 ▷ 社会人としての心得を修得する。 ▷ 進路に関連する専門知識を拡充する。 4年次の学修目標 (グローバル経済コース) ▷ グローバル経済について研究発表を行う。				

※〈 〉内は旧科目名称